

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2009 No. 12

inaokigakuen news letter



ご挨拶

より良い教育と健全な学園の発展を

稲置学園理事長 稲置美弥子

特集 地域での星稜教育

星稜中学校・農山漁村体験学習/金沢星稜大学・フィールド基礎演習

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

星稜 Information

「稲置学園創立者 稲置繁男生誕100年記念の会」開催・大学クラブハウス完成 ほか

星稜幼稚園
きょうは温水プールと
おべんとうの日!



昨年末に「教育學術新聞社」から、文書で「干支の弁」という原稿の依頼がありました。干支を迎える学校法人の理事長の文章を新春から載せようという企画です。そして、1月21日付号に「城下町 金沢で」という題で「教育學術新聞」の二面に載りました（別掲）。

私自身は、「還暦から「回り上」の歳ですが、学校法人稲置学園は今年で創立してから77年目になります。人の年齢でいくと喜寿です。この間、学園を卒園、卒業、修了した方は、延べで5万5千人を超えました。ここまでご尽力いただいた皆さんに感謝したいと思います。

より良い教育と 健全な学園の発展を

学校法人稲置学園 理事長 稲置 美弥子

ここで学園は、平成21年度を初年度とする「学校法人稲置学園中期目標・中期計画」を策定することとしました。学園として、どのような教育を施し、「誠実にして社会に役立つ人間の育成」という建学の精神を実践するのかを明らかにすること、学園の健全な継続と発展を成し遂げることがこの「中期計画」の基本です。いままでの良いところは伸ばし、不備なところを補う。従来の慣行や慣例にとら



「学校法人稲置学園中期目標・中期計画」を策定

教育芸術新聞

弁支の干



新年あけましておめでとうございます。

さて、日本三名園のひとつである兼六園は、前田利家を藩祖とする城下町金沢にあります。この金沢市の中心に二つの川が流れています。おと川と呼ばれる犀川と、おんな川の浅野川。この浅野川が昨年の七月、五十五年ぶりに氾濫しました。私の家もこの浅野川の近くにありますが、ほんの少しのところで難を免れました。また、生徒、学

学生、生徒、園児、そして保護者の方々、さらに卒業生と地域の皆様、もちろん教職員の皆さんのおかげで学園の今日があります。幸いなことに、少子化の中にあつて平成21年度は金沢星稜大学に予想をはるかに超える受験者がありました。また、星稜女子短期大学、星稜高等学校、星稜中学校、星稜幼稚園、星稜泉野幼稚園でもそれぞれ新入生を迎え77年目の学園がスタートします。

われることなく、思い切った改革改善を行うことが必要になってきています。それは、少子化への対応や教育に対する社会の要請に答えなければならぬからです。この「中期計画」は、より良い学園づくりを目指して実行するためのものです。いろいろな意見交換をしながら、なによりも学園「丸」となつて実践することによって、それぞれの目標を達成していきたいと念じています。

城下町 金沢で

(学)稲置学園(金沢星稜大学)理事長

稲置美弥子



稲置理事長

児、生徒、学生約四三〇〇人、非常勤を除く教職員約二八〇人の規模です。学園は、昭和七(一九三二)年、私の父が北陸明正珠算簿記専修学校として金沢に創設したのが始まりです。父稲置繁男が初代理事長、

私が二代目理事長で、三年後には創立八〇周年を迎えます。学園の中期計画を策定し、八〇年の節目を迎えたいと思っています。各設置校では、大学は昨年度、財日本高等教育評価機構の認証評価を受け合格。本年度は、短期大学が財短期大学基準協会の第三者評価を受けているところ

です。高等学校も外部に委託した授業評価や学校評価を実施しました。幼稚園では石川県視聴覚教育研究大

機構の認証評価を受け合格。本年度は、短期大学が財短期大学基準協会の第三者評価を受けているところ

です。高等学校も外部に委託した授業評価や学校評価を実施しました。幼稚園では石川県視聴覚教育研究大

選層から一回り上の年女になりましたが、これらの若いパワーをいただいで、今年も日々精進したいと思っています。

教育芸術新聞(2009年1月21日付)



特集 地域での星稜教育

星稜の教育は、「地域とともに」。

地域社会と関わるさまざまな取り組みが各校で行われています。

今回の特集は、星稜中学校と金沢星稜大学のふたつの取り組みを紹介します。



星稜中学校

文部科学省採択事業

農山漁村体験学習

再発見、能登！

〔穴水町を中心とした農山漁村体験、
就労体験を通じた能登地域の再確認事業〕

農漁業の実体験を通して
地域社会への理解と
人間性を育む取り組み

文部科学省の平成20年度豊かな体験活動推進事業「農山漁村におけるふるさと生活体験推進校」に星稜中学校が採択され、2月12日（木）から14日（土）の3日間、星稜中学校3年生40名が穴水町各地で農漁業体験や地元の方々の方々の民家での宿泊体験などを行いました。この事業は穴水町を中心とした農山漁村での就労体験や地域の方々との交流を通じ、生徒たちに働くことの意義と身近な地域に目を向けて自ら積極的に関わりながらよりよい社会へと改善していく意欲と姿勢を身につけてもらうためのものです。

生徒たちは、地元で農漁業を営む方々のご協力を受けて栗の剪定・椎茸の植菌・小松菜の収穫・ハウスでの育苗・牧場畜舎の清掃・カキやナマコの洗浄など実際の仕事を手伝いました。その他にも珠洲焼体験や輪島塗工場見学など伝統工芸や伝統文化について学び、生徒たちが地域社会を見つめなおす貴重な機会となりました。

また、この事業に金沢星稜大学の学生たちが補助スタッフとして参加しました。

これからの地域活性化への 新鮮な意見を期待します。

「心の教育」の重要性が叫ばれて久しい昨今です。子どもたちにとって大切なのは、親子はもちろんですが、地域を含むさまざまな人たちとの交流だと私は考えています。今回、星稜中学校の生徒の皆さんが穴水町で住民の方々との交流を体験されたことは、豊かな人間としての成長の一助になるでしょう。また今回の3日間の体験が、皆さんが穴水町を好きになるきっかけとなること、これからの地域活性化に役立つ新鮮な意見を寄せてくれる機会となることも期待しています。

星稜中学校の皆さんとお会いして、凛々しくおだやかなお子さんたちだとの印象を受けました。中学・高校という時期は、大切だからこそ難しい時期です。同時に楽しかった思い出として心に刻まれる時期でもあります。皆さんにはこれからもいろいろな体験をし、勉強も遊びも目いっぱい楽しんで、竹のようにまっすぐ、節を作りながら成長していってほしいと願います。



穴水町
石川宣雄 町長



星稜中学校
西川義博 副校長

実際に体験し理解することの 意義を学んでくれたと思います。

今回の事業では、将来を支える子どもたちに、農業に携わる人々との交流や作業の体験を通して私たちの生活を支える第1次産業について理解してもらいたいと考えました。

実体験を経て得られる理解は、大きな意味のあることだと考えます。今回引率して、体験前と後のほんの数時間で生徒たちがしっかりと成長してくれたのを感じました。気味悪がつてナマコに触れられなかった生徒が、それを生業とする方々と対話しながら仕事を手伝った結果、最後には「おいしい」と語り、牧舎の清掃では動物たちと向き合っ命と自分たちの生活との関わりを感じるなど、多くの貴重な体験が生徒たちの成長につながったと考えております。

最後に、今回の事業の成功は穴水町のたくさんの方々のご協力なしには実現できませんでした。快くご尽力いただいた穴水町の皆様に深く感謝いたします。

生徒の感想文より

3年A組 流 愛美さん

私は、この穴水農業体験で、多くの初めてのことを体験しました。その中でも、2日目のカキ、ナマコの洗浄は、コツが掴みにくくて大変だったけど、おじさんがていねいに教えてくれました。3日目の民泊では、おじいちゃんやお母さんに優しくしてもらい、本当に楽しい体験ができたし、良い勉強にもなりました。

3年B組 藤沢佑貴さん

今回の体験活動に参加して、現場で実際に体験することで、農業の大変さや難しさを知り、その中で人々の支えあいや親切な心があることが分かりました。私達が行った穴水には後継者不足問題等があり、この素晴らしい農業が続いていくよう私達も尽力していきたいです。

金沢星稜大学

人間科学部

フィールド基礎演習

人間科学部と

地域の人々との交流

人間科学部長 宮崎正史教授

本年4月に3年目を迎える人間科学部は、地域に役立ち貢献できる人材を育てるために、地域の人々と熱い交流を行っています。人間科学部は「地域」という、開かれた社会にもう一つの学び舎を求め、全学生・全教員がさまざまな課題に取り組んでいます。

平成20年度は、インタビュー紹介にもある「地域里山回廊プロジェクト」、「キッズサマータイムinピアッツア」をはじめ、合わせて13のフィールド企画に2年生全員が参加しました。学生の若い力は、連携先の人々からも期待を持って受け入れていただき、好評を得ることができました。私たち教員も全員参加し、連携先の人々と学生の間のコーディネーターとして大いに汗をかきました。このフィールド基礎演習を学生の人間力（問題を発見し構成する力、表現する力、行動する力、他者と関係を築く力、他者を思いやる力）を培う重要な授業と位置付けています。21年度には2年生のフィールド企画が16、2年次の経験を活かしながら内容を深めた3年生のフィールド企画が8つ実施される予定です。

ところで、昨年に日経グローバルが行った「全国大学地域貢献度ランキング」で、金沢星稜大学は石川県内の大学トップ、全国でも国公立大学中45位、私立大学では11位にランクされました。これは経済学部の学生・教員のこれまでの地域連携活動が高く評価されたものです。人間科学部のフィールド活動が新たに加わり、大学としての地域貢献への評価をいっそう高めていきたいと念じています。21年度には、市内あるいは市外のあちこちで金沢星稜大学の学生達が、地域の人々と共に課題に取り組み姿を目にしていただけだと思います。

その時にはどうか応援をよろしくお願いいたします。

2008年度に実施したフィールド基礎演習

1. 地域里山回廊プロジェクト
2. 武道体験（杖・剣道）
3. 陸上競技クリニック 記録会の実践と運営
4. 老人施設における行事の取り組み
5. 北信越BC野球リーグの運営
6. スポーツクラブでの実技指導と運営
7. 伝統的イベント「祭」・「御所獅子舞」への参加・運営および伝統芸能保存
8. 放課後児童クラブでの子どもとの交流体験
9. 児童文化の体験学習
10. サマースクールの補助体験
11. キッズ・サマータイム in ピアッツア
12. 子どもを対象としたスポーツイベントの企画・運営
13. 子供と音楽で関わろう！ -金沢ジュニアオペラスクール-



地域里山回廊プロジェクト



北信越BC野球リーグの運営



伝統的イベント「祭」・「御所獅子舞」への参加・運営および伝統芸能保存



キッズ・サマータイム in ピアッツア



放課後児童クラブでの子どもとの交流体験



子どもを対象としたスポーツイベントの企画・運営



子供と音楽で関わろう！
-金沢ジュニアオペラスクール-

地域里山回廊プロジェクト



池田幸應 教授

地域のさまざまな人たちと連携し、地域里山回廊プロジェクトを推進

地域の里山の保全再生と地域活性化を目的とする「地域里山回廊プロジェクト」に参加し、本学周辺の里山を舞台に、学生たちは地域のさまざまな人たちと連携して学んできました。

里山回廊は里山の環境を整備して道をつなげるということがひとつの目的ですが、人と人をつなぐ教育プロジェクトだと捉えてもよいでしょう。参加した学生たちには、気心の知れた仲間うちだけで活動するのではなく、そこに集う地域住民の皆さんやNPOの方々、他大学の学生や企業とも連携することが求められました。自然と人、人と人の関係の中でそれぞれの間合いを肌で感じ、自らのポジションと役割を発見して実行する力の必要性を感じてくれたはず。またさまざまな立場の人との交流から、断片的な思考ではなく、より幅が広く奥行きもある視野を身につけることができたと考えています。

今回行われた2年次のフィールド基礎演習を経て、来年学生たちはフィールド演習・実習へと進みます。そこではより主体的・能動的な思考と活動が求められ、今後彼らが実社会で生きていくために、もつとも重要な能力が磨かれていくことでしょう。



人間科学部
スポーツ学科2年
安田賢弘さん

フィールド基礎演習では、これまで経験したことのないいろいろな体験ができました。もし参加していなければ、この先一生でできなかった経験も多いと思います。さまざまな立場の人たちとともに活動することは学ぶことが多く、またとても楽しかったですね。

特にNPO団体から参加されている方々には、考えさせられる部分も多かった。彼らはまったくのボランティアで参加しているんですが、彼らと同じ活動を、自分が大人になってからできるだろうか、と考えました。

将来は体育教員になりたいと思っています。今回フィールド基礎演習で学んだことは教員になるために直接必要なことではありませんが、僕の目指している教師像に近づくという点で、とても大きな意味があったと思います。

キッズサマータイムinピアッツァ



池上 奨 教授

子どもたちと接し、教育の実践を学ぶキッズサマータイムinピアッツァ

「キッズサマータイムinピアッツァ」では、夏休み期間を利用して地域の小学生たちを本学ピアッツァ工房に招き、ケイ藻土を使った彫刻の制作を行いました。

参加する子どもたちにとっても学生にとっても今までになかった取り組みであり、しかもテーマは答えのないアートですから、それぞれの学生が「これを学んだ」と明言するのは難しいかもしれません。しかし、目の前にいる子どもたちひとりひとりに目を向けて指導する経験を教科書で学ぶことは不可能です。学生たちにとって、今回の取り組みは「マルチアル化できないものの大切さ」を知る重要な機会になったと思います。

また今回は本学近隣の小学校のPTAと連携して行ったため、学生たちにとっては地域社会との関わりや学校という自治組織の特色を学ぶ機会にもなりました。

3年生となる次年度はイベントやワークショップの企画と運営に中心的な役割として関わることになりました。フィールド演習の特長であるこの発展性から、学生たちがより大きなものを学び取ってくれることを期待します。

金沢星稜大学の「オープンピアッツァ」

こども学科の学生と教員による地域開放型プログラム「オープンピアッツァ」では、地域の小学生や幼児、保護者らを招いて本学ピアッツァ工房で紙芝居や工作、音楽体験などを行っています。将来小学校や幼稚園教諭等を目指すこども学科の学生にとってこどもたちと触れ合える実践的な学習の場であるとともに、地域の子育て支援にも役立てられています。



はんが DE ねんが



砂像づくり



人間科学部
こども学科2年
針山典子さん

幼稚園教諭の免許を取りたいと考えている私にとって、今回のキッズサマータイムinピアッツァはとてもプラスになりました。この日は日中子どもたちと緒にいたんですが、それを楽しいと感じられる自分を見つけることができました。実際に向き合えないとわからない、「騒ぐ」「飽きる」など子どもたちのいろいろな状態を知ることができました。子どもが「飽きる」ということを知らないければ、「飽きさせないためにはどうするか」ということを学ぶことはできません。そういった教育の実践的な面について勉強するいい機会となりました。

印象的だったのは、子どもたちが彫刻を初体験し、それを完成させた時の喜ぶ顔です。教える私自身にとっても子どもたちにとっても、実際に体験することがとても大切なんだと実感した一日でした。



第一期受講生20名が公務員試験に現役合格!!

平成20年度公務員合格実績

国家公務員	国家Ⅱ種	2名	地方公務員	金沢市役所	1名	金沢市消防	1名
	国税専門官	1名		新川広域事務組合	1名	内灘町消防	1名
	自衛隊曹候補生	2名		石川県警	5名	白山石川広域消防	2名
	自衛隊二士	5名		京都府警	1名	七尾鹿島広域消防	1名
	刑務官	1名		警視庁	1名	射水市消防	1名
				砺波広域消防	1名	児玉郡市広域消防	1名

計28名(うち8名はCDP受講生以外の合格) ※平成21年2月現在



国税専門官合格!

蟹屋敷和弥さん 経済学部4年

兄が公務員、従兄弟が国税専門官で、現場のリアルな話を聞くにつれ私も国税専門官になりたいと考えるようになりました。民間の就職活動はせず志望は公務員のみ。公務員試験は合格結果が出る時期が遅いため、友人たちの就職が決まっていくなか苦しい時間も過ごしましたが、こうして結果を出せて本当に嬉しいです。国税専門官は職に就いてからもかなりの勉強が必要な職種なので、これからも自分を成長させていきたいです。



金沢市(行政)合格!

武田典子さん 経済学部4年

自分たちの利益を追求するだけではない仕事に就きたくて、金沢市役所を第一志望にして勉強をしてきました。今回合格できたことももちろんですが、公務員を目指したことを通じて自分が成長できたこともとても嬉しいです。大学にはクラスがありませんが、CDPでは同じ目標を持った仲間たちと1年の頃からずっと一緒に励まし合いながら勉強してきたので、みんなとすごく仲良くなれたこともよかったと思っています。



国家Ⅱ種(労働局)合格!

荒井奈津美さん 経済学部4年

公務員を志望したきっかけは女性にとって働きやすい仕事というところだったんですが、いろいろ調べるうちに「人のために働く」という点にも大きな魅力を感じるようになりました。公務員を目指して勉強してきたなかで、試験対策以外にもたくさんのかことを学ぶことができました。自分の意識を高く保って努力を続けることで、ちゃんと結果が出ることを、実感できたことは私にとって大きな自信となりました。



税理士試験 (簿記論・財務諸表論)合格!

玉野敦朗さん 経済学部4年

税理士試験は学習期間が長いのでモチベーションを保つことがひとつの課題でした。難しい内容に戸惑い前に進めなくなったり、途中で嫌気が差したりすることもありましたが、そんな時には学習方法を変えて得意分野で自信を取り戻しながら気持ちを高めていきました。税理士になるための勉強はこれからも続きます。卒業し、社会人になってもこの目標と気持ちをしっかりと持ってがんばりたいと思います。



CDP(キャリア・デベロップメント・プログラム)とはー

公務員・税理士・または小学校の教員になって社会のために働きたい。そんな学生を全面的にバックアップする金沢星稜大学独自のキャリアサポートプログラム。それがCDP(キャリア・デベロップメント・プログラム)です。

- 「大学の授業」と「公務員・税理士等試験対策」が効率よく学べます!
- 在学期間を有効活用する長期計画で無理なく確実に目標達成が可能です!
- 優秀な成績の学生はCDP受講料だけでなく大学授業料も免除されます!



星稜幼稚園
磯 聖子 先生

**ひとりひとりの園児たちを
認め、受け入れる役割。**

毎日子どもたちと接するなかでいつも忘れずに心がけているのは、「ひとりひとりを大切にすること」です。子どもたちにはそれぞれ違う個性があり、でもみんなが「自分を見てほしい、認めてほしい」と思っています。ですから、個々の性格にあわせた接し方で、ちゃんとひとりひとりを受け入れてあげることが、何よりも大切な私たちの役割だと考えています。

幼稚園は子どもたちが触れるいちばん最初の社会です。子どもたちにとっては、人に受け入れてもらえる経験が、これから先いろいろなことに対して気持ちを開いてがんばって取り組めるスタート地点になるのだと思います。みんながそのはじめの一步を素直に踏み出せるように、そばで支えてあげたいと考えています。

園児のみんなを見てみると、それぞれが毎日がんばって成長していることがよくわかります。保護者の皆さんも、お子さんを他の子と比較するのではなく、その子自身のがんばりと成長を見てあげてほしいと思います。「やらせなきゃ」と考えてしまいうとお子さんも保護者の方もつらくなってしまうのではないのでしょうか。ぜひその子自身ががんばっていることを大きな心で認めてあげてくださいね。

ひとりひとりを、大切にしたい。

**子どもたちの笑顔から自信と
がんばる気持ちをもらいます。**

昨年、星稜幼稚園で視聴覚教育研究大会が行われ、学外からもたくさんの方の先生方がいらっしやいました。私はとても緊張をしていたんですが、子どもたちはまったく普段通りの笑顔。それを見て私の肩の力も抜けて、いつも通りの子どもたちの姿を見ていただくことができました。先生である私の方が逆に子どもたちから教えられること、与えられることはたくさんあるんです。自信や明日もがんばろうという気持ちは、いつも子どもたちの笑顔からもらっています。

先生になりたての頃、何年も前の卒園児が訪ねて来てすぐに誰だかわかる先輩の先生たちに感心したのですが、私も最初に受け持った年少さんが小学



「一人対大勢ではなく、個と個で関わることを大事にしています」

6年生になって会いに来てくれた時、すぐにわかったんです。ああ、ちゃんと覚えていたものだと思いました。

星稜幼稚園で働く先輩には、教える子のお子さんが今園児として通っているという方もいらっしやいます。卒園までの限られた期間ではなく、その先もずっと続く関係を築けることもこの仕事の幸せなところだと思っています。

先日私の結婚披露宴で、私が乳児園の頃からお世話になっていた先生がお祝いのスピーチをしてくださって、すごく感動しました。私も星稜幼稚園の園児のみんなにとって、そういう大きな存在になれるようにこれからもがんばろうと思っています。



「視聴覚教育研究大会では
子どもたちの笑顔で私の緊張も解けました」



★ オープンピアッツァ 「はながDEねんが」

12月20日(土)、人間科学部こども学科の学生が中心となって企画運営するオープンピアッツァの第6回目、「はながDEねんが」が開催されました。参加したこどもたちは、楽しそうに学生に教わりながら、紙やひもを使ってオリジナルの年賀状を作成しました。年賀状が完成した後は、学生がこどもたちと声を掛け合い、餅つきをしました。つきたてのお餅を食べ、一足早いお正月気分を味わいました。



★ 地域課題研究 ゼミナール支援事業で KANG Baoshengさんが 敢闘賞

1月11日(日)、大学コンソーシアム石川の地域課題研究ゼミナール支援事業報告会が行われ、経済学部・大越多可志ゼミのKANG Baoshengさん(経済学部4年・中国出身)の「炭焼体験をコアとした地域活性化取り組み事例」が敢闘賞を受賞しました。



★ 書道家の森大衛氏が 経済学部「学生学会」 設立記念講演会で講演

昨年7月に、学生がより自発的に学ぶための仕掛けや機会を企画、実践することを目的に学生学会が発足しました。これを記念し12月12日(金)、富山県出身で書道家の森大衛氏を講師に招き「文字離れが進む現在」というテーマで講演会が開催されました。正しく美しい字を書く方法や心をこめて字を書く心構えなど、文字を書くことの大切さをお話いただきました。また、講演の最後には「一生懸命やればきっと評価される時がくる。自分らしさを忘れず頑張ってほしい」と励ましの言葉もいただきました。

★ 学生学会主催 「学生ゼミナール発表会」開催



2月19日(木)、学生学会主催の「学生ゼミナール発表会」が開催され、ゼミナールの研究成果の発表やクラブ・サークルの活動報告が行われました。

★ 特別講演会 「サッカーと人生」開催！

県内の中学・高校生が
プロの指導を受ける

1月24日(土)、元Jリーガーでスポーツジャーナリストの中西哲生氏、名古屋グランパスエイトの藤田俊哉氏を招き「サッカーと人生」と題した講演会が行われました。元Jリーガーで本学サッカー部の小松崎保監督を交えたパネルディスカッション形式で行われ、サッカーの魅力やこれまでの競技人生などについて語っていただきました。約三〇〇名の参加者らは、ユーモアを交えたトークに熱心に聞き入っていました。

講演会終了後は、中学生・高校生・大学生を対象に、中西氏、藤田氏による技術指導が行われました。なお、両氏は同日、本学の客員教授に就任しました。



左から、コーディネーターの田中特任教授、中西氏、藤田氏、小松崎監督



体育館で技術指導をする藤田氏

★直江ゼミプロデュース 「ヴァイオリンと ヴィオラの共演」 「夕暮れコンサート」



人間科学部・直江学芸講師のゼミでは、ゼミ活動の総仕上げとして、1月9日（金）、オーケストラ・アンサンブル金沢ヴァイオリン奏者の坂本久仁雄さんとヴィオラ奏者の古宮山由里さんをお招きして「夕暮れコンサート」を開催しました。これは、大学の日常の空間を非日常の空間に創りあげ、文化的な活動の一つの拠点としての大学の在り方を提案するものです。学園祭での模擬店の売上を資金とし、出演依頼からチケット販売、大学との調整等、学生が協力して行いました。

普段とは違った趣の学生ホールには、学生、教職員に加え、地域の方々も多数集まり、ヴァイオリンとヴィオラの美しい音色に聴き入っていました。

★「保護者のための 就職ガイダンス」開催

12月20日（土）、「保護者のための就職ガイダンス」が開催されました。就職活動の厳しい現状を保護者の方に理解してもらい、学生のよきサポーターとなってもらうことをねらいとしており、当日は、1年生から3年生の保護者約90名が参加しました。

企業の人事担当者によるパネルディスカッションや「保護者のための合同企業説明会」等で就職に対する知識を深めました。



★平成20年度 日本学生野球協会表彰選手に 済田さんが選出

全国の26の大学野球連盟から各1名が表彰される日本学生野球協会の平成20年度表彰選手に済田貴典さん（経済学部4年）が選ばれました。

済田さんは主務兼学生コーチで、練習環境の整備やトレーニングメニューの作成など裏方として選手を支え、また北陸大学野球連盟では学生委員長を務めるなど、大学野球への貢献が評価されました。



★熊木さん・栗田さんが 北陸大学野球ベストナイン

北陸大学野球のリーグ戦で年間を通して最も活躍した選手9名に贈られる「ベストナイン」に、熊木健太郎さん（経済学部4年）と栗田健次さん（経済学部3年）が選ばれました。

熊木さんは秋季リーグ戦で打率3.95（全体で2位）を記録し、愛知・東海・



横山 光さん（左）、大野 翔平さん（右）

★全国大学サッカー 地域選抜大会に 横山さん、大野さんが選出

北陸連盟王座決定戦出場の原動力となる活躍で、初の敢闘賞と2度目のベストナインを受賞しました。また栗田さんは、勝負強いバツティングでチームの勝利に貢献し、同じく2度目のベストナイン（1度目は一塁手で選出）を受賞しました。

3月6日（金）から8日（日）、鹿児島で開催される第23回全国大学サッカー地域選抜デンソーカップチャレンジャーに、本学からDF横山光さん（経済学部3年）、MF大野翔平さん（経済学部2年）の両選手が選ばれました。

横山さんは2年連続、大野さんは初の選出です。

★池田ゼミが 「いいね金沢環境活動賞」 を受賞



2月26日（木）金沢市長より賞状を受け取る連本雅弘さん（4年）

人間科学部・池田幸應ゼミが、「平成20年度いいね金沢環境活動賞」を受賞しました。

「クリーン・ビーチいしかわinかなざわ」のキャプテンとしての活動や「学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦」での平成13年の開始当初からの企画・運営実施等の活動、またごみ問題を考える学生連絡会「COMITOMO」への参加のほか幅広い地域貢献活動を行っていることが評価されました。



短「2年生による就職体験談」を開催



2月6日（金）、就職ガイダンスの一環として、就職が内定した9名の2年生から就職活動や就職試験、取得資格についての体験談報告が行われました。これから就職活動が始める1年生は真剣な表情で聞いていました。

短「社会人となるために」公開文化学術講演会開催



12月10日（水）、本学経営学会主催の第13回公開文化学術講演会が開催され、ダートコーヒー株式会社代表取締役会長の水上誠子氏に「社会人になるために」と題して講演いただきました。働くことによって行動だけでなく、「心」が大きく変わり、「自分は人に対して何ができるだろう」、「自分はどのようにしたいだろう」と改めて自分自身を見つめ直すことができたことなどが紹介されました。また、実際に現場に出て「働く事のすばらしさ」を実感し、「不安な事こそ若い時にチャレンジし、失敗を恐れないで」とアドバイスされました。

最後に「“自分自身にあった生き方”を、そして“すばらしく楽しい生き方”をしてほしい」とのエールをいただきました。

短 オーストラリアで海外研修

2月10日（火）から16日（月）までの7日間、オーストラリアで海外研修が実施され、1年生15名、2年生2名の計17名が参加しました。

オーストラリア人との交流会を通して、事前研修で練習した英会話力を試しました。また、「日本&エマージングマーケット」のディレクター、新堀治彦氏による講演を聴いてケアンズの観光戦略について学びました。そのほか、オーストラリア特有の動植物との触れあいやアボリジニ文化体験、グレートバリアリーフなどの観光名所の見学をしました。

さまざまな貴重な経験を積み、知識や視野を大いに広げることができた研修となりました。



レストランで食事をしながらのオーストラリア人との交流会

高 全国高校サッカー選手権大会

全国高校サッカー選手権大会に出場した本学は、1月2日（金）さいたま市駒場スタジアムで行われた2回戦に登場し、岡山県代表の作陽高校と対戦しましたが、善戦およばず、2-4で敗れました。



第二次世界大戦で使用された水陸両用車でのジャングル探検



「天空の城ラピュタ」のモデルになったと言われるパロネラパークにて

高 全国高校駅伝

男子第59回全国高校駅伝競走大会が、12月21日（日）に京都市の西京極陸上競技場を発着点に行われました。2年ぶり出場の本学は、2時間10分24秒で35位でしたが、第44回大会にマークした最高記録（2時間10分27秒）を3秒上回る記録を出し、来年以降に期待を残した結果となりました。



2区 黒坂 豪士さん（3年）

★ 高 1年生Pコーススキー・スノーボード実習 in 梅池

2月18日(水)から2泊3日の日程で、1年生Pコースのスキー・スノーボード実習が梅池高原スキー場で行われました。天候にも恵まれ、生徒たちは、大自然の中でスキー・スノーボードの楽しみを存分に味わうとともに、スポーツ選手としてのマナーなども学ぶことができ、とても有意義な実習となりました。



★ 高 2年生Pコース修学旅行 冬の北海道を満喫

2月17日(火)から20日(金)の日程で2年生Pコースの生徒たちが北海道へ修学旅行に行きました。北海道は一面の銀世界でニセコでのスノーボード

実習はパウダースノーの最高のコンディションで行うことができました。実習後は小樽へ入り、班別自主研修。小樽の古い街並みを楽しみました。今回は悪天候により日程の変更もありましたが、無事終了することができました。

★ 中 総合学習発表会

11月29日(土)稲置記念館で総合学習の発表会が行われました。総合学習は教科以外の内容を皆で協力して調べ、継続的に学習し、その成果を発表することが目的です。年々、取り組み姿勢や内容、鑑賞態度のレベルが高くなっており、素晴らしい発表会となりました。

発表テーマ

- 1 A・・・琵琶の調べにのせて
- 2 A・・・命
- 3 A・・・オリンピック
- 1 B・・・壊れかけの地球
- 2 B・・・スタジオジブリ
- 3 B・・・介護福祉



★ 中 体育大会・カルタ大会

12月6日(土)に体育大会、12月17日(水)にカルタ大会がそれぞれ行われました。

体育大会は各学年混合のチームをつくり、期末試験後でたまっていたエネルギーを男子はバスケットボール、女子はソフトバレーボールにぶつけ、1年生から3年生の絆がより深まった1日となりました。

カルタ大会は、国語の授業をとおして百人一首にふれ、覚え、その成果を試す絶好の機会となりました。生徒たちは、自分の得意札を何とか取ってやろうと字札と真剣に向き合っていました。



星稜
アし!
コし!



☆金沢21世紀美術館へ
お出かけ☆

1月16日(金)、年長組の子どもたちが、12名のお母さん先生と金沢星稜大学のこども学科のお兄さんお姉さんと一緒に金沢21世紀美術館の作品鑑賞とその他の施設を見学しました。

小学校図工美術展の作品展示コーナーでは、「本物みたい。」「おもしろい。」「きれいだね。」など感じたことを話しながら友達やお母さん先生、お兄さん、お姉さんと嬉しそうに歩いていました。

スイミングプール(レランドロ・エールリッヒ)では、地下から見上げて「わあ、海の中みたい」と歓声をあげていました。

ブルー・プラネット・スカイ(ジェームスタレル)や緑の橋(パトリック・ブラン)もみました。

見て・触れて・体験できる美術館に子どもたちは感動していました。



☆冬のプールで大はしゃぎ☆

1月、年が明けて初めてのプール遊び、冬場のプール遊びは、格別です。あちらこちらで歓声があがります。浮き島にみんなで乗って大はしゃぎ、先生イルカにのってスーイスイ、アクアヌードルのトンネルをくぐってごきげん、すべり台は、スリル満点です。夢中になって宝探しをしているうちに「あれ、今ぼく、もぐれたよ。」なんて気づくこともあります。

プールの後は、お腹もぺこぺこ。今日のお昼は、おうちの人の愛情たっぷりお弁当、子どもたちのホッとできる楽しい時間です。



☆野春を待つ子どもたち

〈そりにのって〉

暖冬とはいえ、雪が園庭につもれば、手袋をし、そりをもってかけ出して行く子どもたち…。

雪の白さも冷たさも、子どもにとっては幸せ気分。

「ねえねえ順番にすべろう。」

築山の緑が見えてくれば、春はもうそこまで…。



〈鬼は外、福は内〉

節分の日はゲームをしたり、豆まきをしたり、お菓子バイキングをしたり、一人一人が自分のおなかの中にいる鬼

を追いかけて、すっきりとした気持ちで立春への節目となる一日を過ごしました。

春には進級進学と、また新しい自分に出会えるよね。



〈人との出会いを大切に〉

高島教諭が、高岡町中学校の1年生に1日講師となってお話をしてくれました。これは、県内で働く社会人からその職業についてやりがいや資格、苦労話などを聞き将来の進路を考えるという授業の一環として行われたものです。

銀行員やエンジニア、理容師や新聞記者の方々も参加される中、高島教諭は、多くの子どもたちと接する喜びを語り、人との出会いを大切にしてい



〈卒園記念制作〉

園長先生とマッピングをしたよ。ただいま卒園記念に大きな大きな絵を制作中…。

61名の想いをのせて、絵本「そらめくくん」を題材に、みんなで少しずつ、筆と心を重ねていきました。これが仕上がる頃には、一年生だね。



「学校法人稲置学園創立者稲置繁男生誕100年記念の会」を開催



平成21年6月17日に、稲置繁男初代理事長の生誕100年を迎えます。これを記念し、6月を「生誕100年記念月間」としていくつかの行事を予定しています。6月20日(土)には、記念式典を開催、ここでは3月から生徒・学生を対象に募集している建学の精神に関する作文の表彰などを行います。

初代理事長が掲げた建学の精神、「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を、役員、教職員、学生・生徒が一体となり、かつ、卒業生及び地域の方々の協力を得て確実に継承し、未来に向けた学園の発展を期すことを誓うこととしています。

【お問い合わせ】

総務部総務課・・・TEL.076-253-3908

金沢信用金庫・金沢星稜大学

寄付講座覚書締結調印

3月12日(木)、金沢信用金庫との寄付講座開講にあたり、本学にて村田武金沢信用金庫理事長と坂野光俊学長による寄付講座覚書の調印が行われました。

この寄付講座は、平成21年度に「地域金融論」として開講され、経験豊かな金沢信用金庫の役職員の方々から最新の金融実務について分かりやすくかつ実戦的に講義いただくものです。



調印を行った坂野金沢星稜大学学長(左から2人目)と村田金沢信用金庫理事長(右から2人目)

大学新クラブハウス完成

10月から建築工事を行っていた大学の新クラブハウスが、1月末で工事を終え無事完成しました。新クラブハウスは、大学トレーニングセンターの隣に建設され、各部共用の部室、会議室、学友会等執行部室のほか、音楽スタジオ等も備えています。平成21年4月より使用できます。



共用部室



○平成20年石川県優良部活動 指導者表彰(知事表彰)

星稜高等学校	西川 明大教諭	(トランポリン部)
星稜高等学校	山口 浩二教諭	(スキー部)
星稜高等学校	北本 弥希非常勤講師	(陸上競技部)
星稜中学校	田中 辰治教諭	(軟式野球部)

○第5回北國スポーツ功労賞

星稜高等学校 親谷 均二教諭(陸上競技)

○第24回北國スポーツ奨励賞

山田 真以さん 星稜高校3年(陸上競技)
星稜中学校軟式野球部

○第19回いしかわ中日体育賞 選手賞(あすなろ賞)

山田 真以さん 星稜高校3年(陸上競技)
松下 みなとさん 星稜高校3年(スキー)



行事スケジュール (3月～6月)

金沢星稜大学

3	2日(月)	～4日(水) 追再試験 ～13日(金) 大学入試センター利用入試 (D日程及びCDP特待生D日程) 出願期間
	7日(土)	一般入試B日程
	19日(木)	学位記授与式
	21日(土)	新入生基礎学力テスト
4	2日(木)	前期入学式 ～3日(金) 新入生学内ガイダンス
	3日(金)	～4日(土) 経済学部3年生専門ゼミナール研修(輪島市)
	5日(日)	～6日(月) 新入生学外研修(山中温泉)
	7日(火)	前期授業開始
	11日(土)	新入生歓迎祭
	中旬	学生健康診断
	30日(土)	保護者懇談会
6	27日(土)	オープンキャンパス

星稜女子短期大学

3	3日(火)	一般入試B日程
	9日(月)	～19日(木) 一般入試C日程出願期間 ～23日(月) 大学入試センター利用入試C日程出願期間
	10日(火)	～12日(木) スキー&スノーボードツアー
	14日(土)	卒業証書・学位記授与式
	25日(水)	一般入試C日程
4	1日(水)	2年次オリエンテーション
	4日(土)	入学式、1年次オリエンテーション
	5日(日)	～6日(月) 新入生研修
	7日(火)	前期授業開始
	15日(水)	新入生歓迎祭
6	12日(金)	体育祭
	13日(土)	～14日(日) 北陸三県私立短期大学体育大会

星稜高等学校

3	2日(月)	卒業式
	9日(月)	～13日(金) 学年末試験
	16日(月)	追試験
	19日(木)	終業式、全国大会出場激励会
	21日(土)	入学説明会
	22日(日)	二次入試
	23日(月)	二次入学説明会
4	7日(火)	始業式
	8日(水)	入学式
	9日(木)	～10日(金) 1年生オリエンテーション
	22日(水)	遠足
5	16日(土)	PTA総会
	19日(火)	～22日(金) 中間試験
6	4日(木)	～7日(日) 県高校総体・総文
	20日(土)	～21日(日) 北信越高校体育大会
	30日(火)	～7/4(土) 期末試験

あとがき

桜前線が着実に北上しはじめ、桜の開花が待ちどしい季節になりました。それにあわせ、もうすぐキャンパスに溢れる新入生の笑顔が待ちどしいと思います。
今年度も、星稜の教育の特色である地域との取組みが、積極的に展開されました。特集で、学生、生徒たちの生き生きとした息づかいを感じ取ってもらえればと思います。
中期目標・中期計画の策定や、学園の創立者である故稲置繁男前理事長の生誕100年記念の会の開催など、建学の精神の下、一体となってより良い学園づくりを進める「星稜」をこれからもお伝えしていきます。よろしくお願いいたします。

総務部総務課 春本裕雄

星稜中学校

3	3日(火)	～5日(木) 学年末試験
	13日(金)	卒業式
	19日(木)	終業式
4	7日(火)	始業式
	8日(水)	入学式
	10日(金)	1年生オリエンテーション
5	2日(土)	授業参観
	14日(木)	～17日(日) 金沢市春季大会
	16日(土)	PTA総会
	20日(水)	～21日(木) 中間試験
6	5日(金)	～6日(土) 写生大会
	20日(土)	～22日(月) 県体予選
	30日(火)	～7/2(木) 期末試験

星稜幼稚園

3	3日(火)	ひな祭り会
	6日(金)	お別れ会
	16日(月)	卒園式
	24日(火)	終業式
4	8日(水)	始業式
	10日(金)	入園式
	24日(金)	保護者会総会
	24日(金)	保護者会総会
5	1日(金)	子どもの日のつどい
	13日(水)	保育参観(年少)
	14日(木)	保育参観(年中)
	15日(金)	保育参観(年長)
	19日(火)	親子バス遠足
	27日(水)	オープンハウス
	28日(木)	オープンハウス
	30日(土)	個人懇談会
6	1日(月)	プール開き
	17日(水)	アスレバール石川
	25日(木)	オープンハウス
	26日(金)	オープンハウス
	26日(金)	オープンハウス

星稜泉野幼稚園

3	3日(火)	ひな祭り
	6日(金)	お別れ参観
	10日(火)	年長組を送る会
	16日(月)	卒園式
4	24日(火)	終業式
	8日(水)	始業式
	10日(金)	入園式
	24日(金)	保護者会総会
5	19日(火)	親子バス遠足
	22日(金)	オープン参観
	28日(木)	オープンハウス
	29日(金)	オープンハウス
	29日(金)	オープンハウス
6	2日(火)	オープン参観
	12日(金)	オープン参観
	17日(水)	アスレバール石川
	22日(月)	オープン参観
	24日(水)	オープンハウス
	25日(木)	オープンハウス



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町10-1
TEL076-253-3924(代表)
<http://www.seiryo-u.ac.jp>

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町西1
TEL076-253-5900(代表)
<http://www.seiryo.ac.jp>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp/jhs>

星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
TEL076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/seiryo/>

星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
TEL076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/izumino/>